



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社福田組 上場取引所 東
コード番号 1899 URL <https://www.fkd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒明 正紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小見 年雄 TEL 025-266-9111
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	116,602	4.1	5,735	70.6	5,955	67.7	3,948	77.4
2023年12月期第3四半期	111,976	3.6	3,361	△32.8	3,552	△31.4	2,226	△36.9

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 4,199百万円 (50.8%) 2023年12月期第3四半期 2,784百万円 (△23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	477.17	-
2023年12月期第3四半期	262.49	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	146,571	83,597	56.5
2023年12月期	136,731	80,333	58.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 82,826百万円 2023年12月期 79,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	110.00	110.00
2024年12月期	-	0.00	-		
2024年12月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,400	2.6	5,800	11.4	6,000	9.5	3,900	15.2	471.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	8,988,111株	2023年12月期	8,988,111株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	712,745株	2023年12月期	714,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	8,274,810株	2023年12月期3Q	8,480,778株

当社は「株式給付信託（J-ESOP）」制度及び「役員株式給付信託（BBT）」制度を導入しております。期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式が含まれております（2024年12月期3Q92,100株、2023年12月期94,600株）。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式を期中平均自己株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年12月期3Q92,850株、2023年12月期3Q90,240株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2024年12月期の個別業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		一株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,360	1.9	3,585	48.3	4,085	38.2	2,860	38.3	345.60

(注) 2024年2月14日公表時と、変更はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9
3. [参考]四半期個別財務諸表	10
4. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績につきましては、以下の通りとなります。

不動産の販売事業、並びに前期から繰り越された大型民間建築工事等の進捗が順調に推移していることから、売上高は前年同四半期と比べて4.1%増の1,166億円余となりました。

利益面では、大型開発物件の引渡しにより不動産事業売上高が増加したことから、売上総利益は前年同四半期と比べて24.8%増の129億円余となりました。また、不動産販売に伴う販売費の計上により、販売費及び一般管理費は増加しているものの、売上総利益の増加がそれを大きく上回っていることから、営業利益は前年同四半期と比べて70.6%増の57億円余となりました。同様に、経常利益においても、前年同四半期と比べて67.7%増の59億円余となりました。これらにより、税金等調整前四半期純利益の増加、並びに法人税等の税金費用が増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べて77.4%増の39億円余となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状況につきましては、以下の通りとなります。

資産については、工事代金及び不動産の販売代金が計画通り入金されたことから現金預金が増加し、前連結会計年度末に比べて98億円余増加し、1,465億円余となりました。

負債については、工事進捗に伴う未成工事受入金等の増加により、前連結会計年度末に比べて65億円余増加し、629億円余となりました。

純資産については、前期分の配当金の支払いがあった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことから利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べて32億円余増加し、835億円余となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期までの業績は、連結受注高においては1,209億円余の前年同四半期比12.3%減となりましたが、手持ち工事の工事進捗が順調に図られたことや、予定通りに不動産を売却できたことなどから、売上高、利益ともに前年同四半期比で増収増益の結果となりました。

我が国経済においては、物価上昇の高止まりから消費マインドの低迷が依然として続く一方で、春闘での高い賃上げ率の上昇が企業の所定内給与の増加を後押しし、これに伴う所得環境の改善から個人消費は徐々に持ち直しに転じるものと思われます。設備投資においては、企業収益の回復に伴う投資意欲の高まりに加え、脱炭素投資やDX投資、省力化投資等の投資需要の高まりや、省エネルギー投資促進に向けた政府支援も相まって、今後の設備投資は堅調に推移するものと思われます。一方で国際情勢に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻を巡る問題や、中東各地に広がる衝突等は、未だ収束が見えない情勢が続いており、国際的な軍事的緊張が高まりを見せております。また、米国の政権、政策運営の動向は、先行きが見えない状況です。このような外的要因から、世界経済の下振れや、エネルギー価格の高騰並びに物価高の再燃、サプライチェーンの停滞等のリスクが未だ潜在しております。

当社グループでは、これら様々な環境の変化に対応すべく、省エネルギー化、DX化の推進による「働き方改革の深化」に日々取り組んでおり、社員一人ひとりの労働環境を改善しながらも、当社グループ全体として、収益力及び財務基盤の強化を図っております。なお、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初計画の当期純利益39億円を上回る結果となり、売上高、その他の利益においても計画値に迫る結果となりました。しかし今後、外的要因に伴う建設コストの増加リスクや、工程遅延の発生リスク等が完全に払拭し切れない状況であること、当第3四半期の連結受注高が前年同四半期と比べて減少していることなどを鑑み、現時点における通期業績見通しは、当初予想の通りと判断しております。

なお、配当予想につきましても、従来と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	29,421	53,329
受取手形・完成工事未収入金等	58,903	46,667
有価証券	49	—
販売用不動産	1,305	1,542
未成工事支出金	1,201	956
不動産事業支出金	4,579	2,669
その他の棚卸資産	345	418
未収入金	3,264	2,416
その他	770	1,344
貸倒引当金	△38	△34
流動資産合計	99,801	109,311
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	23,468	24,089
機械、運搬具及び工具器具備品	14,148	14,303
土地	15,871	15,941
その他	1,496	977
減価償却累計額	△27,900	△28,514
有形固定資産合計	27,084	26,797
無形固定資産		
その他	416	421
無形固定資産合計	416	421
投資その他の資産		
投資有価証券	5,925	6,226
長期貸付金	324	324
退職給付に係る資産	1,752	1,824
繰延税金資産	780	1,046
その他	940	913
貸倒引当金	△295	△295
投資その他の資産合計	9,428	10,040
固定資産合計	36,929	37,259
資産合計	136,731	146,571

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	36,818	36,977
短期借入金	745	530
未払法人税等	1,015	1,516
未成工事受入金等	4,245	9,045
引当金	683	1,973
その他	5,444	5,829
流動負債合計	48,953	55,873
固定負債		
長期借入金	754	542
繰延税金負債	269	220
再評価に係る繰延税金負債	811	796
引当金	561	579
退職給付に係る負債	2,507	2,428
その他	2,539	2,534
固定負債合計	7,444	7,101
負債合計	56,397	62,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,169	6,169
利益剰余金	70,651	73,680
自己株式	△3,531	△3,520
株主資本合計	78,448	81,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,355	1,479
土地再評価差額金	65	81
退職給付に係る調整累計額	△245	△221
その他の包括利益累計額合計	1,175	1,338
非支配株主持分	709	770
純資産合計	80,333	83,597
負債純資産合計	136,731	146,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高		
完成工事高	100,341	102,104
不動産事業売上高	1,614	5,087
その他の事業売上高	10,021	9,409
売上高合計	111,976	116,602
売上原価		
完成工事原価	91,785	92,296
不動産事業売上原価	1,179	3,651
その他の事業売上原価	8,629	7,694
売上原価合計	101,594	103,642
売上総利益		
完成工事総利益	8,555	9,807
不動産事業総利益	434	1,436
その他の事業総利益	1,391	1,715
売上総利益合計	10,381	12,960
販売費及び一般管理費	7,020	7,224
営業利益	3,361	5,735
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	121	133
持分法による投資利益	23	29
その他	97	111
営業外収益合計	255	286
営業外費用		
支払利息	18	19
シンジケートローン手数料	18	20
前払金保証料	19	19
その他	8	5
営業外費用合計	65	65
経常利益	3,552	5,955
特別利益		
固定資産売却益	11	20
投資有価証券売却益	39	9
補助金収入	—	59
その他	2	1
特別利益合計	53	91
特別損失		
固定資産除却損	11	0
投資有価証券評価損	0	0
減損損失	104	—
訴訟損失引当金繰入額	32	—
固定資産圧縮損	—	59
その他	14	—
特別損失合計	162	59
税金等調整前四半期純利益	3,442	5,987
法人税、住民税及び事業税	1,657	2,300
法人税等調整額	△489	△348
法人税等合計	1,168	1,951
四半期純利益	2,274	4,036
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,226	3,948

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
四半期純利益	2,274	4,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	503	119
土地再評価差額金	—	15
退職給付に係る調整額	4	23
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	509	163
四半期包括利益	2,784	4,199
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,733	4,111
非支配株主に係る四半期包括利益	50	88

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
減価償却費	1,005百万円	982百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建設	不動産	計		
売上高					
土木工事	43,700	—	43,700	—	43,700
建築工事	56,659	—	56,659	—	56,659
その他	8,031	380	8,412	499	8,911
顧客との契約から生じる収益	108,391	380	108,771	499	109,271
その他の収益	1,464	1,241	2,705	—	2,705
外部顧客への売上高	109,855	1,621	111,477	499	111,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	70	87	0	88
計	109,872	1,692	111,564	500	112,065
セグメント利益	3,234	200	3,435	43	3,478

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,435
「その他」の区分の利益	43
セグメント間取引消去	2
全社費用（注）	△119
四半期連結損益計算書の営業利益	3,361

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建設」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失計上額は104百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建設	不動産	計		
売上高					
土木工事	49,269	—	49,269	—	49,269
建築工事	53,242	—	53,242	—	53,242
その他	7,251	3,846	11,097	463	11,561
顧客との契約から生じる収益	109,763	3,846	113,609	463	114,073
その他の収益	1,278	1,249	2,528	—	2,528
外部顧客への売上高	111,042	5,095	116,138	463	116,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	69	104	0	104
計	111,077	5,165	116,242	464	116,707
セグメント利益	4,921	905	5,827	26	5,854

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	5,827
「その他」の区分の利益	26
セグメント間取引消去	1
全社費用（注）	△120
四半期連結損益計算書の営業利益	5,735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. [参考] 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間末 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,650	37,428
受取手形及び完成工事未収入金等	38,634	29,379
販売用不動産	1,016	1,008
未成工事支出金等	752	805
不動産事業支出金	4,551	2,631
その他	4,506	3,282
流動資産合計	68,110	74,535
固定資産		
有形固定資産	8,114	8,028
無形固定資産	79	110
投資その他の資産	8,865	9,062
固定資産合計	17,059	17,201
資産合計	85,170	91,737

（単位：百万円）

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間末 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	25,751	23,766
未払法人税等	345	967
引当金	597	1,137
その他	5,869	11,167
流動負債合計	32,564	37,039
固定負債		
退職給付引当金	1,241	1,189
その他	1,371	1,411
固定負債合計	2,613	2,601
負債合計	35,177	39,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,169	6,169
利益剰余金	40,441	42,488
自己株式	△3,531	△3,520
株主資本合計	48,237	50,296
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	928	973
土地再評価差額金	826	826
評価・換算差額等合計	1,755	1,799
純資産合計	49,992	52,096
負債純資産合計	85,170	91,737

（注）この四半期貸借対照表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書（第3四半期累計期間）

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高		
完成工事高	66,041	66,223
不動産事業売上高	364	3,876
売上高計	66,405	70,100
売上原価		
完成工事原価	61,981	61,083
不動産事業売上原価	198	2,729
売上原価計	62,180	63,813
売上総利益		
完成工事総利益	4,060	5,140
不動産事業総利益	165	1,146
売上総利益計	4,225	6,287
販売費及び一般管理費	2,688	2,817
営業利益	1,537	3,469
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	530	624
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	13	21
営業外収益計	546	648
営業外費用		
支払利息	2	6
シンジケートローン手数料	15	12
その他	13	10
営業外費用計	31	30
経常利益	2,052	4,087
特別利益		
投資有価証券売却益	34	9
その他	1	—
特別利益計	35	9
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	104	—
訴訟損失引当金繰入額	32	—
その他	14	0
特別損失計	152	0
税引前四半期純利益	1,935	4,096
法人税、住民税及び事業税	791	1,300
法人税等調整額	△261	△172
法人税等合計	530	1,128
四半期純利益	1,405	2,967

(注) この四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. 補足情報

① 2024年12月期第3四半期の受注高実績

(単位：百万円、%)

区 分	2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	比較増減	増減率
連 結	137,986	120,945	△17,041	△12.3
個 別	89,041	69,439	△19,602	△22.0

(参考) 個別受注実績内訳

(単位：百万円、%)

区 分		2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	比較増減	増減率	
建設 事業	建 築	官公庁	2,768 (3.1%)	1,504 (2.2%)	△1,264	△45.7
		民間	62,876 (70.6)	53,559 (77.1)	△9,317	△14.8
		計	65,645 (73.7)	55,063 (79.3)	△10,581	△16.1
	土 木	官公庁	12,286 (13.8)	8,713 (12.5)	△3,572	△29.1
		民間	5,330 (6.0)	4,685 (6.7)	△645	△12.1
		計	17,616 (19.8)	13,398 (19.3)	△4,217	△23.9
	合 計	官公庁	15,054 (16.9)	10,218 (14.7)	△4,836	△32.1
		民間	68,207 (76.6)	58,244 (83.9)	△9,962	△14.6
		計	83,261 (93.5)	68,462 (98.6)	△14,798	△17.8
不 動 産 事 業		5,779 (6.5)	976 (1.4)	△4,803	△83.1	
合 計		89,041 (100.0)	69,439 (100.0)	△19,602	△22.0	

(注) () 内のパーセント表示は、構成比率

② 2024年12月期 受注高予想 (通期)

(単位：百万円、%)

区 分	2023年12月期実績	2024年12月期予想	比較増減	増減率
連 結	172,365	168,100	△4,265	△2.5
個 別	104,884	100,870	△4,014	△3.8

(注) 受注予想においては、当社が現在入手している情報に基づいて作成したものであり、実際の受注高は今後様々な要因により異なる可能性があります。